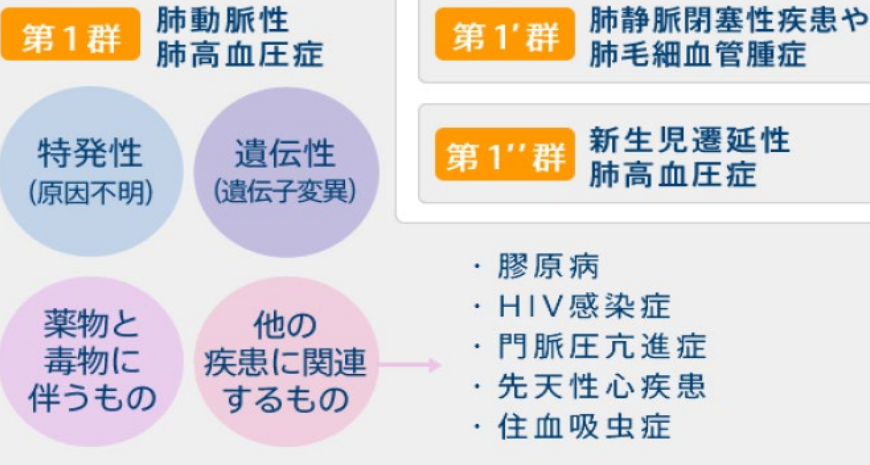


肺高血圧症の分類

肺高血圧症は何らかの原因で肺動脈圧の上昇を来す疾患です。発症の原因により、大きく5群に分類されます。
このうち肺の血管に原因があり肺動脈圧が上昇するものを肺動脈性肺高血圧症（第1群）と言います。
この第1群の肺動脈性肺高血圧症はさらに、原因が特定されていないもの（特発性）、遺伝子変異によるもの（遺伝性）、
膠原病（結合組織病）や先天性心疾患などの他の病気に関連して発症するものなどに分類されます。

[分類]：2013二ース分類

肺の血管



心臓

第2群 左心性心疾患に伴う肺高血圧症

肺

第3群 肺疾患や低酸素血症による肺高血圧症

肺塞栓

第4群 慢性血栓塞栓性肺高血圧症

その他

第5群 原因不明の複合的要因による肺高血圧症

日本循環器学会：肺高血圧症治療ガイドライン(2017年改訂版)より改編

心エコーを実施していないご施設のためのフローチャート

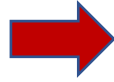
息切れ、浮腫などの自覚症状

なし

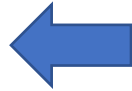


あり

あり



なし



なし



あり



あり

肺高血圧症精査のため
心エコーをご依頼ください
(当院、最寄りの循環器専門医施設)

監修医作図

・深部静脈血栓症または肺血栓塞栓症の既往
・基礎疾患に膠原病・肝疾患

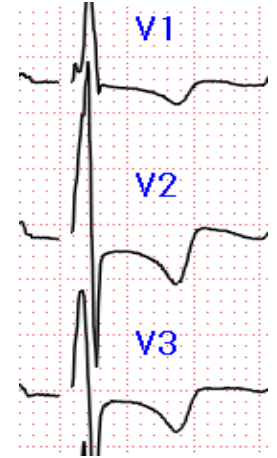
経過観察

(経過観察は半年で再度確認必要等)

心電図



I
右軸偏位
(下向き > 上向き)



V1 V2
R波増高 / 陰性T

胸部X線写真



- ☐ 肺動脈中枢部の拡張
- ☐ 心拡大
- ☐ 肺動脈末梢の狭小化
- ☐ 左第2弓の突出

医療従事者向けコメント

肺高血圧症の患者さんは年々増加傾向であり、決して稀な疾患ではなくなりました。特発性以外にも様々な基礎疾患に合併することが知られています。そして最近では以前のような若い患者ではなく、心臓やその他の肺疾患をもつ高齢者の肺高血圧症が増えています。

しかも治療が遅れるほど予後不良であり、早期発見がとても大切です。はっきりとした原因が分からない息切れがあった場合、肺高血圧症の可能性もご考慮ください。

また、当院では肺高血圧症外来を木曜日に開設しており、第4群の慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するカテーテル治療も実施しております。



(玉 直人)